

事務事業チェックシート

事務事業No 485 事業名 里道等維持修繕事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	2	都市機能や市民生活を支える道路網の整備
施策	2	生活道路の整備
取組方針	3	安全で快適な道路環境の整備及び通学路の安全確保

事業種別	継続		
事業期間	～ 永年		
事業実施の根拠法令	地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律（地方分権一括法） 全数		
関連個別計画			
担当課・担当課長・Tel	道路管理課	山本 隆生	433-1088
関連課	用地課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	土木費		
	項	道路橋梁費		
	目	道路維持費		
	大事業 中事業	道路維持修繕事業 里道等維持修繕事業		

1 事業内容

事業目的	「誰・何」をどういう状態にするための事業か 市民生活に密接な法定外公共物（里道）の維持管理を行う。		全体事業概要 道路法・河川法等の適用又は準用を受けない法定外公共物（里道）の維持管理に伴う、舗装・修繕等や草刈り及び樹木等の伐採処分を行っている。			
	事業内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
里道等のコンクリート舗装、道路壁修繕、草刈り及び樹木等の伐採処分		里道等のコンクリート舗装、道路壁修繕、草刈り及び樹木等の伐採処分	里道等のコンクリート舗装、道路壁修繕、草刈り及び樹木等の伐採処分	里道等のコンクリート舗装、道路壁修繕、草刈り及び樹木等の伐採処分	里道等のコンクリート舗装、道路壁修繕、草刈り及び樹木等の伐採処分	

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	9,004	8,527	16,483	15,752	12,344	14,343	12,344		12,344	
伸び率（%）	-	-	83.1%	84.7%	▲25.1%	▲8.9%	0.0%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	8,984	43,696	43,696	43,471	44,221	4,000		4,014	
	正規職員以外	61	3,659	3,659	3,659	4,302	4,091			
	小計	9,045	47,355	47,355	47,130	47,773	4,000		4,014	
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源（税等）	9,004	8,527	16,483	15,752	12,344	14,343	12,344		12,344	
所要人数（人）	正規職員	5.70	5.74	5.74	5.47	5.47	5.54	0.5		0.5
	正規職員以外	1.81	1.81	1.81	1.81	1.81	1.81	0		0
主な予算内訳	所々修繕料 7,316千円、樹木等処分委託料 5,028千円									

3 目標及び実績

指標名	単位	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標 要望受付件数	件	目標値					
		実績値	35	21	26	26	26
		達成度(%)					
成果指標 修繕件数	件	目標値					
		実績値	35	21	26	26	26
		達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい		一部見直しが必要	○ 見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>法定外公共物（里道）の管理については、市民の防災に対する意識が高まってきている中、避難路（里道）に対する意識が強くなっている状況である。また近年の開発行為の増加に伴う影響で、通路等（里道）の維持管理及び修繕が増加の傾向にあるため、管理コストの上昇が予想される。</p>
見直し・改善内容	